

平成27年度 みくま 事業実績報告書

1 はじめに

平成25年1月に開設され3年が経過した。弁当製造販売は軌道に乗りつつあり、就労支援事業の収支状況も、26年度収益が1,450,000円であったのに対し27年度は2,300,000円と大きく伸びた。

利用者の職業レベルにも向上が見られ、挨拶、報告、連絡、相談等の基本的な事項の指導を強化した結果、自発的な発言、行動に結びついている。27年度当初リーダーを指名し育成することによって作業水準の向上を図る計画であったが、利用者全体の作業レベルが平均化している状況から昼礼の進行、清掃の取りまとめなど日直制によって全体のレベル向上から各利用者の適性を判断する計画に変更した。その結果、責任感や協調性の向上が見られ、作業の円滑な実施につながっている。

一方清掃業務においては作業手順の引継ぎが行われず、業務レベルの低下を招き、クレームを受けるということも発生した。法人内部の受注ということもあり、事業所全体として仕事に対する意識の甘さがあったことが大きな反省点となった。

また、一般企業へのステップアップについては2名が希望し、1名が就職となった。ステップの役割を果たせた意義は大きいですが、一方で次の労働力の確保と育成が必要となるなか、育成に向けたマニュアルやノウハウが組織で共有されてなく、先述のように作業レベルの低下を招く結果となった。

利用者の生活面の支援は、安定した就業を維持するためには重要な要素であるが、少ない職員態勢で最低賃金の支払いと両立させなければならない。法人内清掃の時間帯を使って特に必要と考えられる2名について関係者会議を定期的実施し、本人の課題の共有と課題解決に向けて各機関で協同し取り組んだ結果、2名とも生活面の安定化が図られた。

就労支援事業が一定の成果を挙げ安定化しているのに対して、施設経営面では厳しい現状が続いている。27年度の就労事業会計を除いた施設会計収支は約△190,000円の赤字収支となり10人定員という小規模事業所での経営安定化の難しさを改めて感じている。長期的な安定化を目指すには就労支援事業の大幅成長を行い、経費の捻出を行うか、定員規模の拡大等の対策が必要と考える。

2 事業主体

- 1) 施設名 みくま
- 2) 事業種別 就労継続支援A型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-12
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 10名
- 6) 利用現員 13名(平成28年3月31日)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成25年1月1日
- 9) 職員 5名(平成28年3月31日現在、管理者除く)

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望のもてる生活。

4 利用者支援

1) 就労支援(作業種目別評価)

(1) 弁当販売事業

7月よりメニュー会議を実施し、盛り付け方法やメニューの開発など内容の充実化に取り組んだ。その成果として、メニューは前年度より10種類増やし70種類となった。目標値150個に対し1日平均売上170食以上を維持することができ、前年度比で2

0個増となった。仕入れコストを削減するため取引先の開拓を試みたが、結果的に現在の取引先の方が商品内容や価格などの条件面が良くコストの削減を行う事はできなかった。

(26年度 15,388,291円 27年度 18,036,279円 差額 2,647,988円)

(2) 受託事業

・清掃事業

5月より手動式モップ絞り機の導入とそれに併せてモップの買い替えを行なった。それに伴い、利用者から「片付けが楽になった、掃除がしやすくなった」との声があり働きやすい環境づくりに取り組んだ。その一方で、作業手順の引継ぎが行われず、業務レベルの低下を招き、クレームを受けるということも発生した。法人内部の受注ということもあり、事業所全体として仕事に対する意識の甘さがあったことが大きな反省点となった。

(26年度 2,706,000円 27年度 2,880,000円 差額 174,000円)

・パン製造および販売事業

利用者5名が曜日ごとに交代で小平第二みどり作業所のパン製造およびみくま前でのパン販売を行った。利用者の入れ替わりも多く、一人ひとりのパン製造技術に課題があり第二みどりより求められているレベルまで達することが出来なかった。みくまは利用者の作業レベルにあった作業内容への変更を希望したが、第二みどりはパン製造の業務を希望しているため、有効な解決方法が見つけられなかった。28年度以降の課題としたい。

(26年度 900,000円 27年度 960,000円 差額 60,000円)

(3) 受注事業

・名刺、年賀はがき印刷

弁当製造事業に人手を割くことが多く、受注のための営業活動は積極的に行うことは出来ず、年間の収入は約30,000円減少した。

(26年度 239,090円 27年度 204,700円 差額 34,390円)

2) 生活支援

全員と個別面談を実施し、生活状況の把握に努めたが、多くの利用者は大きな問題はなく、安定した状況で就業できていた。2名が生活面に課題があったため、定期的に関係者会議を行ない、各機関が協同して課題解決に取り組み、年度途中には2名とも生活面の改善がみられ、出勤が安定した。

5 開所状況

1) 開所期間 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

2) 開所日数

- | | |
|-------------|--------------|
| (1) 週開所日数 | 5日間 |
| (2) 開所時間 | 午前7時30分～午後5時 |
| (3) 年間延開所日数 | 241日 |

6 利用状況

- | | |
|-------------------|--------|
| (1) 利用者延人員 | 2,457人 |
| (2) 1日平均利用人員 | 10.2人 |
| (3) 年度内利用者実人員 | 13名 |
| (4) 年度内新規利用契約者実人員 | 3名 |

(5) 年度内利用終了者実人員

2名

*就労 : 1名

7 利用者状況 (平成28年3月31日現在)

1) 年齢 (平均年齢37.9歳)

20歳以上30歳未満	3名
30歳以上40歳未満	6名
40歳以上50歳未満	2名
50歳以上60歳未満	0名
60歳以上65歳未満	2名

2) 障害の状況

愛の手帳4度	5名
精神保健福祉手帳3級	4名
精神保健福祉手帳2級	3名
身体障害者手帳3級	1名

3) 通所手段

送迎車利用	なし
交通機関利用	4名
徒歩等	9名

4) 居住状況

管内在住	12名	管外在住	1名
------	-----	------	----

5) 性別

男性	9名	女性	4名
----	----	----	----

8 利用者賃金

(雇用契約)

平均賃金	1人	月額	82,667円
		日給	4,760円
		時給	935円

(利用契約)

平均賃金	1人	月額	20,073円
		日給	1,767円
		時給	450円

(全体)

平均賃金	1人	月額	65,815円
		日給	4,179円
		時給	859円

9 職員配置 (平成28年3月31日)

管理者 : 1名

サービス管理責任者 : 1名

職業指導員 : 2名 (常勤換算 1.4)

生活支援員 : 2名 (常勤換算 0.8)

10 防災

災害時避難訓練を年3回実施した。